

海老名市立上星小学校 学校運営協議会 議事録
(令和6年度 第3回)

- 1 日時 令和7年2月3日(月) 9:30~11:00
- 2 場所 海老名市立上星小学校 校長室
- 3 出席委員 栗山明郎委員長、樋口るり子委員、仲村ひとみ委員、渡部洋子委員、小島洋人委員、古畑恒委員(進行)、石川雄一郎委員(記録)

4 会議の内容

(1) 学校運営協議会委員長挨拶

第3回目ということで、特に問題なく学校は進んでいるかと思いますが、年末に悲しい事件もあり、市全体・学童さんも含めて取り組んでいかなければならないと思っています。また、地域の支援者の一人として今後も気にしていきたいと考えています。

(2) 教頭挨拶

今年度の学校教育活動、滞りなく進めることができた。地域のみなさんにおかれましては、たくさん支えていただきありがとうございました。

(3) 学校行事等について

古畑教頭：4年生の新しい防災教育、北部と本校の防災備蓄倉庫の見学をはじめ、特色ある教育活動の1つとすることができました。また、1年生の昔遊び、新しい形で計画・実施でき、体育館での活動は良かったと思います。

栗山委員長：児童に終わった遊びをチェックしていくシートがあると、昔あそびの会はさらに良くなると思います。

樋口委員：メンコについては、新しい道具や物を用意しておくといいし、紐とコマの組み合わせがあまりよくなかったものもありました。

古畑教頭：道具の点検や修繕、新たに購入するなど、改善していきます。

石川委員：確実に体験できるように準備しつつ、「地域の方と触れ合う」という目的を達成できるようにしていきたいと思っています。

栗山委員長：道具に購入年月日を記入しておき、子供達に実感させるのも良いと思います。

古畑教頭：キャリア教育について、多様な職種の方を招くことで6年生の児童の良い学習にできたと思います。消防の方にも全面的に協力していただきありがとうございました。

小島委員：消防士たちの方の経験にもなって良かったです。

栗山委員長：司会の石川先生のまわし方が上手だったので、あの形ならどのような職種の方も招けると思います。

石川委員：バレーボールの中島さんや、ソフトボールの峰選手にお話しいただくこともできて、よかったですと思いました。

古畑教頭：海老名市、そして本校も例外ではなく、9名の職員が産休、育休という状況にあり、何とか代替の職員を確保しながら学校運営を進めています。児童数については増え続けている学校になり、2月、1年と4年に転入生がありました。支援級は、来年度5学級になる予定で進めています。

栗山委員長：学区の見直しもあるので5年後には更に児童が増えるかもしれませんね。

古畑教頭：通常級についても学級数が増える関係で、キラこんルーム、さくぽんルームは通常教室になる予定で、国際級も設置の方向で進めています。

古畑教頭：学校教育活動アンケートについて、昨年度と比べて良い評価をいただいている項目がほとんどでした。なお、今年度よりGoogleフォームを利用した回答方法を始めたことから、回答母数は昨年度より減っています。

仲村委員：教育活動に関するアンケート結果のグラフについては、カラーにして配付するのも検討した方が良いと思います。

小島委員：凡例を右寄せにすることで、よりわかりやすく示せると思います。

古畑教頭：授業をわかりやすく教えてもらっている、という項目に否定的な回答をしているご家庭・子どもたちの思いに寄り添った教育を進めていきたいです。

樋口委員：保護者意見と児童の意見の差も見ていきたいです。

古畑教頭：家庭学習についての項目について、ご家庭それぞれの考え方や意見を踏まえると、これからの学校からの家庭学習の提示の仕方は、内容や量を学校から家庭・児童に提案する形も検討していかなければならないと考えています。

栗山委員長：結果の示し方については、実施時期や回答者の属性等も記載した方が良いと思います。

古畑教頭：学年の傾向がわかることにより、教員の指導実践を振り返る機会にもなるので、大切に分析していきます。別件ですが、アイパッドの活用については、家庭学習や翌日以降の予定の配信など、効果的に使えていると考えています。

栗山委員長：破損などはありますか？

古畑教頭：あります。交換対応という形で進めています。

樋口委員：不登校についてはどうでしょうか？

古畑教頭：フリースクールに通っている児童もいたり、家庭内で過ごしている児童もいたりします。また、校内のおひさまルーム（リソースルーム）に登

校できている子もいます。

樋口委員：フリースクールも含め、不登校についての捉え方をどんどん新しくしていく必要があると思う

古畑教頭：それぞれのお子さんや家庭の考え方を踏まえて、じっくりと進めていきます。

栗山委員長：様々な学び方があるということで、悪いことをしない、というのが大切だと思います。

樋口委員：「学校に行ってもらいたい」という思いから保護者さんが解放されることも必要だと思います。

栗山委員長：インクルーシブを進めていくために、先生の数、倍は必要だと思っています。働き方改革も含めて、市の方にも先生の数を増やしていただきたいと思います。

樋口委員：支援級について教えてください。

古畑教頭：保護者さんの思いをよく聞いて、通常級や特別支援学級の選択についても含め、個に応じた形で進めていきます。学習面で言えば、基礎基本は平等に、それ以外の部分についてはそれぞれのお子さんの強みや興味関心をもとに高めていけたらいいという考えもあります。

小島委員：アンケートについて、よく当てはまる・やや当てはまるの肯定回答の割合を合算して分析している点は問題ないと思います。授業について、保護者への伝達についても良い結果なので、継続して進めていただきたいです。挨拶は地域のお陰もあり素晴らしい。家庭学習については、同じく数値の低いアイパッドの活用を組み合わせることで、よりよくなっていくと思います。

栗山委員長：あいさつについては、実際の状況はアンケートより低いと思います。行事や節目ではない通常の時の挨拶が少ないと感じます。あとは、体育館の周りの段差について、子どもたちや地域の方が怪我をしないか心配をしています。段差がかなりあって、特に暗くなると危険だと感じます。別件としては、各地区から何人くらい通っているのか、データとして調べておいてほしいです。

渡部委員：放課後の校庭で、高学年の児童の言葉遣いが悪いのはとても気になります。中学生の遊び方や態度が気になります。土日については、保護者さんと児童がスポーツの特訓をされていて、学童利用児童や職員が危ないこともありました。悲しい事件から学童職員への精神的なサポートが必要になったこともあり、児童の受け入れについても良く考えていかなければならないとも感じています。話はかわりますが、4丁目の方から不審者情報をよく聞きますので、注意していきたいと思います。4丁目と5丁目の境目のところかもしれません。

(4) 令和7年度に向けて

石川委員：令和7年度の年間行事予定について、今日現在までに確定しているものを別紙に書きだしましたので、ご承知おきいただきたく思います。

栗山委員長：見やすくまとめていただき、ありがとうございます。今後、他の行事等についても確定していくと思いますので、更新版についてもいただきたく思います。

樋口委員：モジュール学習については継続していきますか？

古畑教頭：モジュール学習をはじめて1年目ということもあり、来年度は継続していきますが、この1年の実践をしっかりと分析していきます。

石川委員：来年度の第1回は5月12日（月）にお願いしたいと考えております。よろしく願いいたします。

栗山委員長：先生方の異動が心配ですが、子どもたちの支援をどうしていけば良いのかを、地域の一員としてこれからも協力していきたいと思っています。よろしく願いいたします。

5 連絡（次回の予定）

○令和7年度第1回 令和7年5月12日（月）9：30から校長室にて行う予定